

< あなたの治療について >

呼内-CBDCA/PTX-NSCLC-q3w

今回の治療は、CBDCA/PTX 療法という治療法で、カルボプラチン(CBDCA)とパクリタキセル(PTX)という2種類の注射薬を併用して行います。カルボプラチン、パクリタキセルは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。





治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間(21日間)ごとに4~6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~3日目	4~21日目
	アプレピタント (吐き気止め)	内服	125	80	お休み

アプレピタントは症状に応じて上記日数を超えることがあります。

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
	レスタミン (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み
	デキサート ファモチジン (アレルギー予防・ 吐き気止め)	点滴 約15分		
	グラニセロトン (吐き気止め)	点滴 約30分		
	パクリタキセル (抗がん剤) 200mg/m ²	点滴 約3時間		
	カルボプラチン (抗がん剤) 6AUC	点滴 約1時間		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について(頻度20%以上)

パクリタキセル・カルボプラチンについて

白血球数減少、好中球数減少、血小板減少、ヘモグロビン減少、赤血球減少、ヘマトクリット値減少
悪心、嘔気・嘔吐、食欲不振、末梢神経障害、関節痛、脱毛

特徴的な副作用について

パクリタキセルにおける

過敏症状

呼吸困難，胸痛，低血圧，頻脈，徐脈，潮熱，血管浮腫，発汗等

***パクリタキセルを点滴する前に過敏症の予防薬を使用します。**

刺激伝道障害

高血圧、低血圧、徐脈など

関節痛・筋肉痛

症状は一般に、投与開始後2，3日後にあらわれ、また、早期のクール(1～3クール目)より発現する傾向にあります。

末梢神経障害

「手足のしびれ感，灼熱感，痛み：物がつかみづらい，歩行時につまづくことが多い」などの症状

***しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

アルコール過敏症

この薬は水に溶けにくいので、アルコールを使って溶かしています。注射時のアルコール消毒で皮膚が赤くなる方、少量の飲酒で顔や全身が赤くなったり、具合が悪くなったりする方はお知らせください。

また、注射後、眠気やめまいなどがおこることがありますので、注射のあとは自動車の運転や危険を伴う機械の操作は避けて下さい。

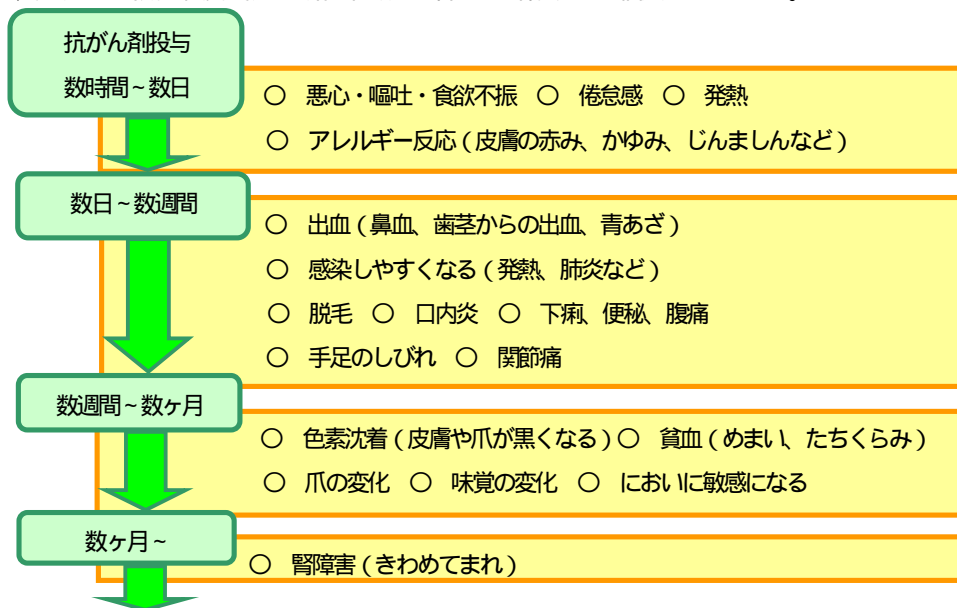
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【バクリタキセル】

- <ショック、アナフィラキシー様症状>急に呼吸が困難になる、胸痛、血圧低下、脈が速くなるあるいは遅くなる、顔などがぼてる、むくみ、発汗
- <白血球減少等の骨髄抑制>熱がある、さむけがする、のどが痛い、咳が出る、排尿時痛、出血しやすい、血が止まりにくい、貧血
- <末梢神経障害>手足の痺れ、服のボタンかけができない、手先の細かい作業に支障
- <間質性肺炎、肺線維症>咳が続く、息苦しい、発熱
- <急性呼吸窮乏症候群>急に呼吸が困難になる
- <心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫>動悸、息切れ、胸痛、息苦しい
- <難聴、耳鳴>聞こえにくい、耳鳴りがする
- <消化管壊死、腸管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍>激しい腹痛、下血
- <重篤な腸炎>激しい腹痛、下痢
- <腸管閉塞、腸管麻痺>食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部膨満
- <肝機能障害、黄疸>黄疸が出る
- <膵炎>上腹部の激痛
- <急性腎不全>尿が出なくなる、血尿が出る
- <皮膚粘膜剥離症候群、中毒性表皮壊死症>手足に輪状の紅斑、発熱、下痢、やけどのような症状
- <播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい

【カルボプラチン】

- <汎血球減少等の骨髄抑制>発熱、悪寒、咳、鼻水が出る、めまい、出血しやすい、血が止まりにくい、あざができる、体がだるい、疲れやすい、息切れ、のどの痛み
- <ショック・アナフィラキシー様症状>唇や爪などが青紫色になる、胸や息が苦しくなる、急に気分が悪くなる、めまいがする
- <間質性肺炎>発熱、咳、胸や息が苦しくなる
- <急性腎不全>尿の出が悪くなる、血尿が出る
- <肝不全、肝機能障害、黄疸>黄疸が出る
- <消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍>激しい腹痛、下血
- <脳梗塞、肺梗塞>意識の低下、手足のしびれ、息苦しい
- <血栓・塞栓症>手足のしびれ、息苦しい
- <心筋梗塞、うっ血性心不全>動悸、息切れ、胸が痛い、苦しい
- <溶血性尿毒症症候群>出血しやすい、血が止まりにくい、尿の出が悪くなる、皮膚や白目が黄色くなる、めまいがする、皮膚に紫色の斑点ができる
- <急性呼吸窮乏症候群>急に呼吸が困難になる
- <播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい
- <急性膵炎>上腹部の激痛
- <出血性腸炎、偽膜性大腸炎>激しい腹痛、下痢
- <麻痺性イレウス>食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部の膨満、腸内容物のうっ滞

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。